



岩村みゆき 議員

Miyuki Iwamura



12月定例会

チャレンジ

トピックス

一般質問

追跡

Q.代読・代筆(読み書き)支援の充実を A.講座を検討していく



▲小牧市の講座のテキスト

高齢化の進展に伴い、視力の低下した高齢者など、読み書きに支障がある方への支援の必要性が高まってきている。

Q 小牧市では代読・代筆(読み書き)

支援基礎講習会が行われた。豊山町でも開催を希望するが、考えはあるか。

A 生活福祉部長
町と社会福祉協議会では、ボランティアの養成および活動の多様性、充実化を共同で図っている。代読・代筆支援講座も社会福祉協議会と連携し検討していく。

2度にわたる震度7の地震により、熊本県益城町では、災害対策本部となる役場庁舎も被害を受けた。このことを教訓にしなければならぬ。

A.Q.熊本地震に学び防災対策を A.家庭でも備蓄を

Q 想定外の災害でも、対策本部を速やかに設置できるように、役場以外の代替地は決めているか。

A 総務部長
役場本庁舎は、町所有施設の中で最も耐震性の高い施設である。使用できない場合は、損壊を免れた中から最も適した場所を選定していきたい。

Q 情報の収集・共有をしやすいするため、指定避難所にWi-Fi設備をつけてはどうか。

A 総務部長
今年度、交流拠点環境充実事業で、とよやまタウンバスバス停付近にWi-Fiアクセスポイントを設置する。アクセス範囲は半径100mなので、一部の避難所から利用できる。また、NIIの「特設公衆電話」の設置を検討している。

Q 現地では、ブルーシートがかなり足りなかったと聞く。本町の備蓄はどうか。



▲防災訓練に参加を

A 総務部長
合計82枚備蓄しているが、避難所の運営等に使用するもの。町民の皆さんには、各家庭で用意いただくよう周知啓発していきたい。